

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心安らぐこの場所でみんなの笑顔が私達のしあわせ」を理念にあげ、地域に浸透するよう努力している。	玄関、各フロアなどすぐ目につくところに掲示している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期的な職員全体のミーティング及び全棟の小集まりなどで定期的に報告し合っている。	○ たまに、いっそう頻りに取り組んで行くことを重視したい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関の正面などに掲示しており、これからの家の方々がどう理解しているか、これから努力して取り組んでいきたい。	○ 日々の対応などで理念に合った言葉にしていきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	年間の行事など隣近所及び子供達などにも参加を促し、見学などにも参加していたりしている。	隣近所以来行事のために隣近所の方へ声掛けは密にしておこなっている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設での催物、行事など直接お誘いしたり、手作りポスターなどで参加を求めたりしている。 運営推進会議で定期的な交流を求めている。	○ これからも年内涼祭、クリスマス会など多くのボランティアの参加により行い、今後は年内行事として結果を残したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合いの場を、定期的に取組んでいきたい。		将来的に役立つよう心掛け努めるよう努力したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	常に入居者中心を念頭に置き、それに対する評価、改善及び向上に向け、コミュニケーションを取り合い質の向上に努めている。		改善点を具体的に話し合い、年次またはタイルから紙タイルに替えたし念を継続している。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在年1回程度の運営推進会議とされているが、出席者は近隣の施設等に限定されるのが現状のため、報告は文書で行っている。	○	年6回会議開催が理想であるが、出来る限り回数を多くするよう努めたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村に直接伺い、現状など報告し質の向上に努めている。		管理者が市町村に出向き受託にむけ積極的にサービス向上に努めている。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	入居者及び家族からの要望により、研修である病院関係者に相談、三用方法を支援出来るよう働きかけを目標にしたい。	○	資料をもとに勉強会を行い、利用者に支援できるようにしたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時など個々の身体チェックに力を入れ、打撲などの有無の確認をしている。常に虐待への認識を職員に徹底している。		言葉遣いで虐待があることを認識している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時家族等の不安や疑問に対し分かりやすく説明している。		
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に投書箱を設け、家族の意見などを募っている。 外部者へ表せる機会は現在行っていない。	○	外部者へ表せる機会を何らかの形で行うよう努力したい。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の言方と同じ書内中長と合収書とを承認してもらっている。 定期的には行っていない。	○	定期的に言方同出来ないと家族に対し出納内帳、合収書などの写しを送付出来るよう努力したい。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にアンケート用紙や苦情窓口を設置し入居時に入居者及び家族に説明する機会に家族の言方と同じでもいっている。	○	家族の意見、不満、苦情など、アンケート用紙などでも継続して行いたい。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度の運営者及び管理者の定例会議で行っている。		月一度のミーティングなど常に実行して行きたい。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員各自の勤務調整は出来ている利用者においても状況に応じて対応しているが、家族に対してはむずかしい。	○	家族の意見など柔軟に対応して行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	他の科へ手回しに行くようにし、利用者も職員も馴染みになるようにしている。	○	全体、全員のケア・カンファレンスの実施
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体の病院や他のグループホームに手回しに行き、勉強会の機会を実施している。	○	外部研修の参加(はしているが、職員全てに(同)知るようにしたい。
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年に数回程度の外部研修の参加(はしているが、他同業者との交流は今のところない。	○	これから、(同)市町村の同業者との交流を考えていきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間のコミュニケーションに心がけている		職員との話し合いなど互いのコミュニケーションをより深めるようにしていきたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	運営者、管理者に心がけている。	○	ミーティング、研修会などの参加

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所当初、本人及び家族との話し合いによって不安を出来るだけ解消出来るようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	特に家族との話し合いを重点におき、接している。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応の見極めを重点にし対応している。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	常に入居者が自分のペースで出来るよう支援している。	○ 入所希望があった場合は、本人と家族との入所見学をすすめている。また、希望があれば体験入所も実施している。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一日も有意義に楽しく過ごすように努力している。	歌や絵、テレビ観賞、昔又新など楽しく過ごしていただいている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人が何を希望しているかなど、一緒に考え行動を共にするようにしている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の状況など家族に家に連絡をとり、より良い関係が保てるよう配慮している。		電話などで連絡やさくらだまりなどでより良い関係を築くよう努力している。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に面会に来ていたとき、居室やフロアなどで過ごしていたりしている。		外出、外泊など自由に行なわれている。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	トラブルの原因によりそうなる入居者同士は、棟を別々にするなど配慮に心掛けている。		常にトラブルが起きないように職員の見守りなど穏やかに接するよう努力している。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	全員ではないが、利用終了してご家族から定期的な連絡をいただいている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に入居者に対し人格を尊重し言葉遣い、態度に注意し対応している	○ 常により良い介護に心掛けて取り組んでいきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や個人の尊厳を支えられるよう、過去の経歴等を話し支援を行っている。	常に取り組んで努力している。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の介護内容等を入居者一人ひとりの個人ファイルに記し記録している。	継続して続けていきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者及び家族の意見を取り入れ相談しながら介護計画を作成している。	○ 常に職員とのコミュニケーションを取り利用者の変化を見逃さず介護計画に反映したい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書の実施期間も細かく記載し見直しなど正確に行っている。入居者の状況変化は必ずしも対応し見直し作成している。	9 入居者の状態変化に随時対応できるように取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	白々一人ひとりのケースを記録に一日の出来事を記載している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	系列の事業所への支援は できている。	○	本人、家族から要望があれば すぐに対応が出来るように 仕掛けてたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向はなかなかないから、 ボランティアの訪ねる回数訓練の 実施はある。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	系列の事業者との話し合いはあるが、 他のサービスの利用はない。	○	本人の意向があれば 他のサービス利用も考えて いきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの 協働は今のところない。	○	地域包括支援センターとの つながりを言及し、支援していた けるように協働していきたい。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	言達造法人が病院のため相談出来る体制となっている。住み分けによる歯科医師も確保している。		月1回歯科受診、外来受診月2回、訪問受診月2回を確保しており急ぎを診している。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて専門医の診断は勧めている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員に看護師がいるため相談しやすい体制となっている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者が入院した時は、早期退院に向け、主治医と管理者は、常に小情報で交換している。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	言達造法人の病院との連携を基に、特にご家族と話し合い一番本人が家族に寄りかかると全員で考えるようにしている。	○	ご高齢の入居者、そのご家族の将来的な希望を常に聞き取りながら介護をしている。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	言達造法人の病院と連携をとり、本人ご家族の希望をもとにより良い介護が出来るようロケーションを組み合わせたい。	○	月何日の定期検診など病院との連絡も悉く行い、一人ひとりの体調を把握により取り組んでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人の現状にサマリーな個人情報交換を急に行なうように努力している。		何人かの入居者の別の居所への移住の際、紹介状及びサマリーなケア履歴関係者に紹介している。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや対応共に日常的に徹底しており、個人情報も個別にファイル管理し、日誌にも書き記録している。		個室対応を原則とし、入室、トイレなど一人ひとりに丁寧に介助するように心がけ実行している。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者の意見を聞き希望にそった楽しみなど参加を促している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースに出来る限り合わせ穏やかな態度で支援している。	○	こちらの理念に基づき支援しており、これからも継続していきたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理髪は2ヶ月に1回施設内訪問して一人ひとりの希望を聞き取り移している。近所の美容院予約も希望で行けるようにしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの食卓の大きさにしており、嫌いなものは、別の対応で準備し、お菓子などは、出来るだけ多めに配膳している。		片付け、テーブル拭きなどお手伝いしていたりしている。 職員も同じテーブルで一緒に同じ食事している。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食事の際は、お好きなものは、なるべく多めに、嫌いなものは、別の物で対応できるようにして努力している。		野菜が嫌いな方には出来るだけ細かくして包んでいたり、肉類の類が嫌いな方には魚類などで対応している。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	休憩前、その後は必ずトイレ介助する。その他トイレ使用の際は出来る限り介助して失敗は少くするように努力している。		トイレ介助により失敗を減らすことで尿取りパット、パンツ類を捨てる量が少なくなる。これからも続けたい。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴中歌を唄ったり、音話を話したり、職員の知らなかったことなど知る機会も多く貴重な時間である。		週回は継続し、入居者にも定着している。入浴時着替えなども同様である。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼寝前にトイレ介助してから休んでいたが、全員が休んでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昔働いていたことを現在も継続していると思っているほどの仕事依存の方には、負担にならない程度のたこえは布を縫ったりなどしていたりしている		医師からの助言もあり、一つの動作の繰り返しを昔と今が同じと思われ落ちついておられる。歌を唄ったり全員の楽しみも行っている。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族から現金をお預かりに管理している。必要な物、希望のものなどはその都度必要に応じている。		購入したいもの、必要なものなどがあつた場合職員が代行して買いに行っている。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援している	玄関前やその周辺はど者まで歩く場合が多い。所外に出ることは、ご家族と共にかつ多い。	○	職員が買い物に行く日等と一緒に行くように考えています。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	レストランでの会食を計画したがつ、出入りの問題、送迎車などの問題点が多く進行し切れなかった。		ケアマネの自宅の庭で楽しく過ごしたり、身近な場所では努めて努力している。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お電話内のピンリ電話なども利用出来るがつ、ご家族が見えたり、ご家族からの電話が逆に多い。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	土日おまぐらひに面会にこられるご家族もあり、居室にて談笑されたりして楽しんでいただいている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	車椅子対応の方で車椅子倒防止のためベルト使用が必要である。ご家族への了解を得て使用している。		車椅子対応を出来るだけ早くせめることを目標に日リハゼリなどに力を入れるよう努めた。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には危険防止のため、番付表の了解を得て鍵を内側から出られないように。居室などは、自由に出入り出来る。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間は常に見守りを重点に介護し夜勤は朝9時、12時、3時、5時には必ず巡回し、お風呂を見守っている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品については、保管場所や管理方法を決めており、全員が実行している。		薬品、塩素系洗剤類は鍵のかかる棚やケースに保管している。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書、アリハットなど作成し再発防止に向け話し合い、改善に役立てるよう行っている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当を実施出来る体制は全ての職員には行き届いていない。	○	医療機関等に訓練の協力を不負いし、消防署での応急講習会などに参加していきたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	入居者と共に防災訓練を行い、避難訓練も実行しているが地域の人々へは、声掛けのみである。	○	地域住民に積極的参加協力を得られるよう努力したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	個人差があり、ご家族との話し合いで理解していただくよう努めている。	○	家族とのコミュニケーションを今以上に持ち、話し合いの場を多く持っていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	手の温かさや顔色などその都度(体温測定、血圧測定、問診)などを行っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬を介助している。嘔吐下痢等による嘔吐防止にも配慮している。		嘔吐防止のため、吐き出し防止剤を行っている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の個人データを記録し、その都度水分、食事による調整を行っている。		個人差はあるが、散歩による予防、下剤による調整などを行っている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、おやつ後、口すき、夕食後に口腔ケアを全員に実践している。		入れ歯の方は次の朝まで洗浄剤に浸している。耳あがりも対応している。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の水分、食事摂取量を朝昼夕時、夕方と記録を確保し管理している。	○	食事摂取量は個人別に確保出来るが、水分量は毎日変化もあり、記録等は非常に有効であり今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ流行時には全員予防接種を実施している。ノロウイルス等の予防は毎食前に消毒剤を手でスプレーして予防している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日定期的に毎体病院へ取りに行き、施設内の大型冷蔵庫で保管管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりには障害物を取り除ききれいに整備し、安心して行来出来る。		外観的にも花、樹木がきれいに手入れし、草むしりも職員全員で除草している。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	月別によりフロアに季節感ある壁飾りや入居者によるお祝い会、折紙作りなど色々な居心地のよい場所があるよう努めている。		居室に毎月手作りのカレンダーや絵を飾ったり、それと併せて自身の名前を常に書いていたよう努めている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでテレビ観賞したり、お女子会(お祝い会)をしたり、新聞を言売人たり、一人ひとりに自由に選ばれる。		布Tシャツを手作りしたり、それをまた広げたり、利用者同士で楽しく行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ご自身が好まれるもの、使用していた ものなど自由に置き置いた上で 居心地のよい生活が出来るよう 支援している。		壁掛け、椅子、その他お好きな 物を飾ったり置いたりして いたで楽しい生活をしてい ている。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	居室、フロア・トイレなど換気は 日常毎日行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	テイクアウト、三光置のため、布おしり など一人ひとりのペースで出来るよう 支援している。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	ひげ剃りは電動にて自立可能な おはしはスポンジ替えスズに 交換する。一人ひとりの自立に出来る 支援に努めている。		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	四季折々の花や樹木を植えて、 居室内の植木を居室前に植替えて 楽しんでいる。外周りにベンチを 日光浴など皆で楽しんでいる。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「やさしく、しぜつ、こいねいに」を基本とし、施設での理念に定かい  
 支援している。

広い窓又土色と緑り深い落ち着いた環境の中で穏やかに  
 過ごせる家庭的な雰囲気のあるホームである。